

第2回新潟県食肉流通合理化計画策定協議会 議事概要

1 開催概要

- (1) 日 時：令和8年1月30日（金）午後3時から午後4時20分まで
- (2) 会 場：新潟県自治会館3階・301会議室
- (3) 出席者：本委員会委員21名のうち18名が出席

2 議事概要

(1) 事務局説明

- 議題1 新潟県食肉流通合理化計画の概要
- 議題2 第1回新潟県食肉流通合理化計画策定協議会の概要
- 議題3 新潟県食肉センター再編検討委員会の検討状況
- 議題4 新潟県食肉流通合理化計画（案）
- 議題5 今後の進め方 について説明を行った。

(2) 委員の主な意見

事務局説明後の意見交換において、委員の主な意見は以下のとおり。

ア 計画や再編への評価

- 収益性の問題解決には、加工はもちろんのこと、販売まで取り組む必要がある。再編に当たっては、現有の食肉センターが中心となり、そこに県が入っていく進め方が望ましく、県だけで進めるのではなく関係者全体で再編議論を進めていかないとうまくまとまらない。
- 村上牛は、東京のと場で処理され、隣接の市場で競っているが、新潟の業者が落札し、最終的に県内消費していることを踏まえ、どのように対応するのか検討が必要。
- 県外にも県内で生産される肉畜が流出している。県内に新たに整備する食肉センターを活用するよう調整すべき。

計画案への意見

- 肉用牛の県内出荷の目標が現在ほとんど変わらず、取組が目標の数値に反映されていない。県内出荷比率について、県外出荷分も県内に持ってくる基本構想に合致した目標数値に整理すべき。
- 食肉センター再編に伴い、施設の集約化により、肉畜の輸送が困難となる生産者や産地等に対する支援を議論することも必要となることから、計画に盛り込むべき。
- 新潟県食肉センター再編基本構想に盛り込まれている「令和12年度の新施設稼働を目指す」文言を本計画に盛り込むべき。

(3) 結論

計画案への意見について、反映する作業を進める。

（後日、意見を反映させた計画案を委員に確認し、北陸農政局に協議して異議なしの回答を得た。）